

第3回枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

1. 日 時：令和5年7月10日（月）9時00分～12時00分

2. 場 所：輝きプラザきらら 3階 教育委員会室

3. 出席者

(1)選定委員

さいとう ひろし
齋藤 博 学校教育部次長兼学校教育室長

かばやま さ ゆ り
椛山 佐由里 枚方市立第二中学校長

そがわ み き
十川 美樹 枚方市立香陽小学校長

むらかみ とおる
村上 徹（欠席） 枚方市立桜丘中学校教頭

はっとり ようすけ
服部 陽介（欠席） 枚方市立樟葉小学校教頭

まきむら たけし
牧村 剛 枚方市PTA協議会代表

くりむら ゆ み こ
栗村 由美子 枚方市PTA協議会代表

(3)事務局

くつぬぎ よしこ
沓 拔 淑子 学校教育部 教育指導課 主幹

こうさか ともみ
上坂 友美 学校教育部 教育指導課 主幹

たなだ じゅんご
棚田 惇 学校教育部 教育指導課 主幹

4. 配付書類・資料

(1) 第3回選定委員会次第

(2) 第1回選定委員会配付資料一式

(3) 第2回選定委員会配付資料一式

(4) 資料1：第3回、第4回選定委員会種目別調査員代表説明予定表

- (5) 資料 2 : 令和 6 年度使用教科用図書 (小学校) 調査の報告について
- (6) 資料 3 : 令和 6 年度使用中学校用教科書の見本本について
- (7) 資料 4 : 教科書センターの閲覧者の意見【各種目】

5. 次第

- (1) 開会の挨拶
- (2) 令和 6 年使用小学校教科用図書採択に係る調査員報告
- (3) 令和 6 年度使用小学校教科用図書採択に係る選定審議
- (4) その他
- (5) 閉会の挨拶

6. 会議内容

[司会進行：教科書担当]

- ・本日、村上委員、服部委員については、欠席である。枚方市の附属機関条例において、委員の 2 分の 1 以上の出席が定められており、本日 2 分の 1 以上の出席を超えているため、本会議が成立していることを申し上げる。

(1) 開会の挨拶

[齋藤委員長]

- ・只今より、令和 6 年度使用小学校教科用図書採択に係る第 3 回教科用図書選定委員会をはじめ。本日からの選定委員会は、全種目の調査員の代表に、この選定委員会の場へ出席いただき、全発行者の教科書について、調査結果の報告を受ける予定をしている。調査員には、非常にタイトなスケジュールの中で、これまで、集中して、公正かつ綿密な調査研究を行っていただいた。本日、そして明日の選定委員会は、その調査員の報告に基づき審議を行ったうえで、教育委員会への意見を答申としてまとめる、きわめて重要な会議となる。
- ・学習指導要領の目標、内容を踏まえ、本市の児童にとって最適な教科書はどれかという視点で審議を行い、教育委員会で採択を行うにあたっての有効な意見を、まとめていきたい。活発な発言を願う。

[齋藤委員長]

- ・それでは、只今より審議に入るが、先に、事務局の担当から本日新たに配付している資料及び、調査活動等の経過報告について説明を行ってもらう。

[教科書担当]

- ・まず、本日の配付資料について、確認をする。1 つめ、第 1 回選定委員会配付資料一式、次に、第 2 回選定委員会配付資料一式、そして、本日新たに配付した資料として、資料 1 : 第 3 回、第 4 回選定委員会種目別調査員代表説明予定表、資料 2 : 各種目の令和 6 年度使用教科用図書 (小学校) 調査の報告について、資料 3 : 令和 6 年度使用小学校用教科書の見本本について、資料 4 : 教科書

の閲覧に関するアンケート、この資料2の報告書については、本来は、第2回のときに配布した資料3のような様式になっているが、本日は、その内容を一覧にまとめたものを見ていただきながら、各調査員から説明をしてもらう予定である。

- ・次に調査活動等の経過報告について説明する。小学校用教科用図書12種目について、教育委員会が各3人の調査員を任命し、6月7日の調査員全体説明会をスタートに、調査員は各種目に分かれて、調査研究を行ってきた。調査研究を行うに当たっては、教科書見本本及び、大阪府教育委員会から送られてきた、令和6年度使用教科用図書選定資料小学校用を活用し、公正確保を図りながら、主体的且つ専門的に、綿密な調査を行っていただいた。
- ・7月3日には、調査員代表者である校長から調査結果をまとめた報告書、本日は資料2として、一覧にまとめたものを、各種目の令和6年度使用教科用図書（小学校）調査の報告として提出していただいた。
- ・なお、現在本市で使用している教科書については、第1回に配付した、資料9の一覧をご覧ください。また、今回の採択の対象となるすべての教科用図書については、第2回に配付した資料4令和6年度（2024年度）使用小学校用教科書の発行者別一覧をご覧ください。
- ・また、教科書採択に対し、広く教職員に関心をもってもらうため、5月19日から小学校ごとに約4日間の期間を設定し、見本本を回覧した。必要とあれば再度回覧し、7月7日に全44小学校での回覧がほぼ終了した。その際、新しい教科書についてのよい特徴等を報告書に書く機会を設けている。

さらに、市民に教科書を見てもらうため、枚方市立教育文化センターにある教科書センターおよび枚方市立中央図書館で、6月8日から15日まで法定外展示、6月16日から7月1日まで法定展示を行い、期間中、69人の閲覧者があったと報告を受けている。このあと、時間をとり、資料3の学校からの意見書及び、資料4教科書センターでの閲覧者の意見をご覧くださいと思う。

[齋藤委員長]

- ・少し時間をとる。

[教科書担当]

- ・学校からの意見書、および教科書センターの閲覧者の意見は、このようにまとめている。適宜、ご覧ください。
- ・この後、9：15より、の調査員代表から調査報告を受けていただき、審議のうえ、答申の内容をまとめていただく。なお、本日も公正確保のため、配付資料につきましては、会議終了後、回収する。

[齋藤委員長]

- ・それでは審議に入る。この後については、①学習指導要領の目標並びに内容を基本とし、府の選定審議会資料を活用しながら、よい特徴の事実列記と記載するかたちで作成された調査員報告書などをご覧くださいながら、調査員代表による説明を約10分を受けていただく。説明後、質疑を行っていただき、各自ご意見を整理

していただく。②調査員退室後、さまざまな角度から皆さまのご意見をいただき、選定委員会としての一定の見解を出していきたいと考えている。③可能な限り全委員一致でまとめていきたいと考えている。④種目の説明の順番については、資料①第3回、第4回選定委員会種目別調査員代表説明予定表のとおりに行う。

(2)令和6年使用小学校教科用図書採択に係る調査員報告及び

(3)令和6年度使用小学校教科用図書採択に係る選定審議

【種目名 国語】

[齋藤委員長]

- ・調査員代表の入室を認める。

<国語 調査員代表 枚方市立山田東小学校長 岩本 真治 入室>

[齋藤委員長]

- ・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

[齋藤委員長]

- ・ただ今の報告の中で、質問はないか。

[椋山委員]

- ・国語科の目標は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成をめざす」ことである。言葉への関心を高め、言葉の力を育むことができるよう、言語活動の充実という点から各発行者の教科書を見たとき、それぞれどのような特徴があるか。具体的に説明をお願いします。

[調査員代表]

- ・東京書籍6ページをご覧いただきたい。東京書籍では、各単元で、身につける資質・能力を「言葉の力」として明示している。言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化などについて日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができるように内容が取りあげられ、各単元の始まりのページにもこの単元の「言葉の力」として明示されている。30ページをご覧いただきたい。単元の中核教材の後には本単元でどのような言語活動をするのか学習の流れが明確になっていて、また例示や二次元コードによる資料室があることで児童にとってわかりやすい工夫がされている。
- ・教育出版4ページをご覧いただきたい。教育出版では、教科書冒頭で「〇年生で学ぶこと」とし

て、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域ごとに学習活動が明示されており、どのような言葉の力をつけていくのか確認できるようになっている。次に88ページをご覧ください。単元の中核教材の後には「見通しをもとう」で、本単元でどのような言語活動をするのか明確になっており、またヒントや補足があることで児童にとってわかりやすい工夫がされている。

- ・光村図書12ページをご覧ください。光村図書では、教科書冒頭で「〇年生で学ぶこと」として、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域ごとに学習活動が明示されており、どのような言葉の力をつけていくのか確認できるようになっている。合わせて、前学年での学習のつながりが明記されており、言語活動の系統が確認できるようになっている。38ページをご覧ください。「見通しをもとう」で、本単元でどのような言語活動をするのか明確になっている。また言語活動の補足や例示があるとともに「問いをもとう」で児童の思考を深める工夫がなされている。

[十川副委員長]

- ・学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められているが、児童が学習に主体的に取り組む場面、対話を通して考えを深める場面の設定において、特に工夫がされている発行者があれば、具体的に例をあげて説明をお願いします。

[調査員代表]

- ・三社ともに、個別の学びから、グループの学びへ、さらには学級全体の学びへと発展する学習が設定されている。例えば東京書籍では、学校生活をよくするというテーマで、グループで役割分担し、協働でプレゼンテーションを作成するという設定がされている。教育出版では、地域の防災というテーマで、お互いの立場・主張を聞き合い、考えを深めるというパネルディスカッションの設定がされている。光村図書では、学校のよいところというテーマで、様々な立場や年齢の異なる人の話を聞き、友達と伝え合うというインタビュー活動の設定がされている。

[齋藤委員長]

- ・学習指導要領では「情報の扱い方に関する事項」として、様々な媒体から必要な情報を取り出し、整理、発信（表現）する力が求められている。高度なAI技術が誕生する中、これからの社会を生きていく子供たちには、自分たちで課題をみつけ、探究していく力が必要だと考える。その中で、学校図書館などを利用して、本などから情報を得て活用する言語活動もとても大切なものである。この点において各発行者はどのような工夫を行っているか、具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・東京書籍では、各学年の単元学習後の読書紹介「こんな本もいっしょに」では、同一著者の別作品やテーマが関連する作品が紹介されている。また、読書単元の「本は友達〇年生の本だな」では、学年に応じた図書の紹介とともに、著名人の読書体験文や読書活動の仕方を示すなど、段階的に、読書習慣の形成および進んで学習や生活に生かすことができるよう工夫されている。教育出版では、各学年の単元学習後の読書紹介「本を読もう」では、同一著者の別作品やテーマが関連する作

品が紹介されている。巻末の「〇年生で読みたい本」では、学年に応じた多様なテーマの図書が解説文つきで紹介されている。また、読書単元の「読書の広場」では、読書交流活動のコーナーを設けるなど、読書習慣の形成および進んで学習や生活に生かすことができるよう工夫されている。光村図書では、各学年の単元学習後の読書紹介「この本、読もう」では、テーマが関連する作品が紹介されている。巻末の「本の世界を広げよう」では、テーマごとの図書が解説文つきで紹介されている。また、読書単元の「本は友達」では、本の選び方や交流の仕方を示すなど、読書習慣の形成および進んで学習や生活に生かすことができるよう工夫されている。

[十川副委員長]

- ・児童が学びを深め、広げるためには、重点をおくべき指導事項を明確化し、その系統性を図っていく必要がある。学習の系統性を重視するといった観点からみたとき、特に工夫が見られる各発行者について、具体的に例を挙げて説明願う。

[調査員代表]

- ・東京書籍と光村図書である。東京書籍では、各単元に「思い出そう」という題名で二次元コードが設定されており、前学年の同じ領域、関連単元で学習したことが確認できるようになっている。光村図書では、巻頭の「〇年生で学ぶこと」に前学年の同じ領域、関連単元で学習したことが確認できるようになっている。また、各単元の冒頭でも前学年の関連について巻頭の「〇年生で学ぶこと」を確認するよう促す記載がなされている。

[齋藤委員長]

- ・本市の児童にとってふさわしい教科書を2社程度あげるとすると、どのようになるか。

[調査員代表]

- ・東京書籍と光村図書である。両社ともに、前学年の関連を意識することで系統的な学習ができるよう工夫されており、また、学習活動を深めるための資料や児童の思考を助けるための工夫がなされている。

[齋藤委員長]

- ・その中で強いて1社あげるとすると、どの発行者になるか。その大きな理由は何か。

[調査員代表]

- ・東京書籍である。6年生の教科書で扱われている、共通の教材で説明する。東京書籍186ページ 光村図書231ページの、「海の命（海のいのち）」をご覧いただきたい。東京書籍では、このように各単元で、身につける資質・能力を「言葉の力」として明示している。この「言葉のちから」があることで、子どもたちは単元で身に付ける力を意識して、学びに向かうことができる。6年間を通して螺旋的・反復的に、より国語の特質を理解し身につけることができる。また、他の単元でもイラストや表などの配置が視覚的にとらえやすくなっており、必要な情報や学習活動がわかりや

すく工夫されている。さらに学習活動を進めていく中で必要な資料や情報、前学年の関連などは二次元コードから確認できるようになっており、児童が情報の整理・活用を行い、自らの言葉で発信していく力を育むことができる教科書であるとする。

[齋藤委員長]

・他に質問等はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

・調査員代表、ありがとうございました。

< 国語調査員代表 枚方市立山田東小学校長 岩本 真治 退室 >

[齋藤委員長]

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

[齋藤委員長]

・東京書籍は、各単元で、身につける資質・能力を「言葉の力」として明示することで、子どもたちは単元で身につける力を意識して、学びに向かうことができる。6年間を通して、より国語の特質を理解し身につけることができ、児童が情報の整理・活用を行い、自らの言葉で発信していく力を育むことができる教科書であるとする。他の発行者にもよい特徴がそれぞれあるため、その辺りも併せて教育委員会に答申する。異議はないか。

<異議なし>

[齋藤委員長]

・他の発行者の特徴も含めて答申する。

【種目名 書写】

[齋藤委員長]

・調査員代表の入室を認める。

<書写 調査員代表 枚方市立津田南小学校長 松村光庸 入室 >

[齋藤委員長]

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

[齋藤委員長]

- ・ただ今の報告の中で、質問はないか。

[十川副委員長]

- ・発達段階を考慮し、児童が楽しみながら学べるという点で特に工夫されている点から各発行者の教科書を見たとき、それぞれどのような特徴があるか。具体的に説明をお願いします。

[調査員代表]

- ・東京書籍6年生では、17ページに「インタビューのメモを取ろう」について紹介されている。学んだ書写の力を生かすだけでなく、速く書くということに挑戦できる内容は今後日常生活でも生かせると考える。教育出版6年生では、16ページに校外学習の「リーフレット」の作成について紹介されている。取材からリーフレットの構成を考えた上で、実際に書写の力を生かして書くという内容は、とても児童の創作意欲をかきたてる。光村図書6年生では、42ページに小学校6年間で身に付けたことを生かせる内容について紹介されている。ポスター、作品集に留まらず、タブレット、黒板においての制作は、とても児童の創作意欲をかきたてると思う。

[椋山委員]

- ・3年生では毛筆の学習が新たに始まるが、毛筆を使用する書写の指導が毛筆書写の能力の育成で完結してしまわないように、毛筆と硬筆との関連的な指導を一層工夫することが求められている。この点において各発行者の教科書をみたとき、特に特徴のある発行者の教科書について、具体的に説明をお願いします。

[調査員代表]

- ・毛筆を始めるにあたり、各発行者で記載は見られるが、特に、光村図書については「毛筆スタートブック」という特集ページを組んでいる。2ページで今まで慣れたんだ硬筆とは違う毛筆について、その特徴を「ひみつ」という視点でわかりやすく抑えた上で具体的な内容に進んでいる。子ども達も、より毛筆の学習に興味・関心を持つと思われる。

[椋山委員]

- ・各教科等の学習や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するという点において、各発行者の教科書はどのような工夫が見られるか。具体的に説明をお願いしたい。

[調査員代表]

- ・東京書籍6年生では、22ページに「分かりやすく伝える書き方」が紹介されている。文字の大きさ、配列、筆記具など書写で学んだことを、書き表し方に生かせることでより分かりやすく伝え

ることができる。教育出版6年生では、15ページに「レッツトライ・国語のノート」が紹介されている。学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を知ることができたり、書き方のひみつを習得することができたりするため、児童にとっても普通の授業に大変生かすことができる。光村図書6年生では、21ページに「書写ブック」が紹介されている。1年生から6年生までに学習したことを取り上げており、「ポスター」、「新聞」など今後の日常生活でも生かせるものが分かりやすくまとまっていて、いつでも参考にできる。

[十川副委員長]

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するように、学び方の工夫が見られる発行者について、説明をお願いする。

[調査員代表]

- ・三者とも、学習を進めるにあたって、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するように学び方が示されている。その中でも、光村図書においては、身に付けた書写の力を学習活動のどの場面でいかせるかが分かる教材を取り上げて、よりカリキュラム・マネジメントがしやすいように工夫されてる。さらに、一人一台端末として配付されているタブレットでの制作活動においても「書写」の力を発揮することができる提示は、より学び方の広さを提案するものとなっている。

[齋藤委員長]

- ・本市の児童にとってふさわしい教科書を2社程度あげるとすると、どのようになるか。

[調査員代表]

- ・東京書籍と光村図書である。理由は、報告した6つの調査項目について掲載されている内容が、児童にとっても、教える側の教師にとっても、より、充実しているからである。また、二次元コードも充実しており、より個別最適な学びと協働的な学びの仕掛けの一助となるものである。

[齋藤委員長]

- ・その中で強いて1社あげるとすると、どの発行者になるか。その大きな理由は何か。

[調査員代表]

- ・強いて1社をあげるならば、光村図書である。各者とも学習指導要領の趣旨を踏まえられ、内容や教材の取り扱いに著しい過不足などはなく、特に日常生活や他教科への活用と写真・イラスト・レイアウトなどの視覚的な支援から各者の教科書に対する熱意も十分感じられた。日々に教育現場で使用する児童と教師の視点を加味すると、光村図書が書写でつけた力「たいせつ」は、より日常生活に生かす幅が広いこと、学びを深める児童にとって毛筆と硬筆の内容とその示し方がより落ち着いた色合いで受け止めやすいこと等を勘案した結果として先のように報告する。

[齋藤委員長]

- ・他に質問はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

- ・調査員代表、ありがとうございました。

<書写調査員代表 枚方市立津田南小学校長 松村 光庸 退室>

[齋藤委員長]

- ・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

[齋藤委員長]

- ・光村図書においては、身に付けた書写の力を学習活動のどの場面でいかせるかが分かる教材をより、取り上げていること、また、書写でつけた力を、日常生活に生かす幅が広いこと等、児童にとって大変学びやすい教科書であると考え。他の発行者にもよい特徴がそれぞれあるので、その辺りも併せて教育委員会に答申する。異議はないか。

<異議なし>

[齋藤委員長]

- ・他の発行者の特徴も含めて答する。

【種目名 外国語】

[齋藤委員長]

- ・調査員代表の入室を認める。

<外国語 調査員代表 枚方市立磯島小学校長 鈴木 秀和 入室>

[齋藤委員長]

- ・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

[齋藤委員長]

- ・ただ今の報告の中で、質問はないか。

[椋山委員]

- ・小学校から高等学校まで一貫して言語活動を通して資質・能力を育成することを目標としている外国語科であるが、中学校の学習に向けた円滑な接続における工夫という点で、それぞれの発行者はどのような工夫を行っているか。具体的に例を挙げて説明をお願いします。

[調査員代表]

- ・どの発行者も6年生において小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友達に伝える活動が設定されており、中学校英語科との円滑な接続を意識していると考えられる。特徴的であったのは東京書籍と光村図書である。東京書籍では6年生の94ページと95ページにおいて中学校1年生で扱う言語材料や英語の辞書の紹介、be動詞と一般動詞を使った英文の文法紹介などが掲載されている。光村図書では6年生の108ページと109ページで、発音と綴り、文構造や辞書の紹介、中学校の教科書にある各単元と英語の4技能5領域の関連などが紹介されている。

[十川副委員長]

- ・外国語で表現し伝え合うためには、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて情報を整理しながら考えなどを形成していくという過程が重要である。こうした見方・考え方を適切に働かせながら取り組む学習活動を通して、資質・能力を豊かに、また着実に育成することが求められている。この、見方・考え方を適切に働かせるための工夫が見られる発行者について、具体的に例を挙げて説明をお願いしたい。

[調査員代表]

- ・どの発行者もコミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて情報を整理する活動が設定されている。特徴的なものを、例をあげて紹介する。開隆堂の6年生67ページ。単元末のActivityにおいて、単元で学んできた表現を伝えるだけではなく、その表現を活かしたクイズ作成とコミュニケーション活動が設定されている。続いて三省堂の6年生73ページ。Let's Tryにおいて、伝え合う活動で終わるのではなく、みんなの思い出アルバムを作るという課題が設定され、情報を整理する力の育成をねらっている。

[齋藤委員長]

- ・コミュニケーションを重視する外国語科では、音声や動画といったコンテンツを多く含むデジタル教科書やQRコードの活用などの活用の幅が広がっていくことが想定される。デジタル教科書についても先ほどの報告では取り上げていただいた。児童がデジタル教科書を使っていくという想定において、より児童の学びが広がっていくであろう発行者があれば、具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・どの発行者もタブレット端末での使用に対応したデジタル教科書や、QRコードからのリンクによ

る動画や音声教材を提供している。児童の学びが広がっていくという視点では、東京書籍と教育出版により特徴が見られる。東京書籍のデジタルコンテンツは音声を再生した直後に児童がリピートするための「間」を設定している。聞かせるという目的のみならず、繰り返し練習することを想定した工夫であると考えられる。教育出版のデジタルコンテンツには録音・再生機能があり、児童が自分の習熟度にあわせて繰り返し練習を重ねることができる配慮がなされている。

[十川副委員長]

- ・小学校外国語科の単元では、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能5領域の活動が重視されている。コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を伸ばすため、この4技能5領域の言語活動が効果的に組み立てられている発行者があれば、具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・どの発行者も単元のまとまりの中で「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能5領域の活動がユニット化されている。中でもよい特徴が見られたのは光村図書である。44ページをご覧いただきたい。単元の初めにはHop!、Step1、Step2、Jump!で取り組む内容が簡潔に示されており、学習の見通しをもたせることが可能である。各単元は5領域のうち重点的に扱う領域が教材ごとに設定されており、領域のバランスの取れた設計となっている。44ページから46ページの聞く活動と47ページの繰り返し練習と表現、書く活動と読む活動というStep1の学習の流れが48ページから49ページのStep2にも見られる。学習の流れがルーティン化しているという点は、授業者にとっても学習者にとってもよい点であると考えられる。また、ルーティンという視点でもう1つ挙げるとすれば、教科書を読む視線の流れが上から下に統一されている点や、各ページのQRコードの位置を固定している点も優れている。

[齋藤委員長]

- ・本市の児童にとってふさわしい教科書を2社程度あげるとすると、どのようになるか。

[調査員代表]

- ・全者甲乙つけがたいが、あえて申し上げるとすると、東京書籍と光村図書である。東京書籍はデジタル教科書の使用感が他社より秀でており、児童の集中力を途切れさせることのない授業展開が可能だと考えられる。光村図書は単元構成が明確で学習の見通しをもたせやすく、ルーティン化しているという点も含め、言語活動以外で「迷う」可能性を極力排除している点が優れている。

[齋藤委員長]

- ・その中で強いて1社あげるとすると、どの発行者になるか。その大きな理由は何か。

[調査員代表]

- ・光村図書である。理由は大きく2点。1点目は東京書籍に優位性が見られるデジタルコンテンツの充実に関する項目のウェイトが7項目のうちの一つでしかない点である。もし、外国語科の授

業特性を鑑み、このウエイトを重く取り扱うのであれば、結論は違ったかもしれない。あくまでも7分の1というウエイトで判断した結果である。2点目は光村図書のルーティン化された明確な単元構成が児童の学習意欲を高めるとともに、授業者の自信にもつながると考えるからである。授業者、学習者双方にとって、余計な心配や不安を大きく軽減していることが認められたため、この結論に至った。

[齋藤委員長]

・他に質問はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

・調査員代表、ありがとうございました。

<外国語調査員代表 枚方市立磯島小学校長 鈴木 秀和 退室>

[齋藤委員長]

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

[齋藤委員長]

・単元構成がルーティン化されていることで児童の学習意欲を高められるとともに、授業者の自信にもつながることや単元ごとに重点的に扱う言語活動が設定されており、全体としてバランスの取れた設計となっていることなどが光村図書の特徴として挙げられた。ただ、デジタル教科書の充実という点では東京書籍が特徴的だとも分かった。他の発行者にも良い特徴がそれぞれあるので、その辺りも併せて教育委員会に答申する。異議はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

・他の発行者の特徴も含めて答申する。

【種目名 算数】

[齋藤委員長]

・調査員代表の入室を認める。

<算数 調査員代表 枚方市立田口山小学校長 田中 毅 入室>

[齋藤委員長]

- ・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

[齋藤委員長]

- ・ただ今の報告の中で、質問はないか。

[椋山委員]

- ・学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められているが、児童が学習に主体的に取り組む場面、対話を通して考えを深める場面の設定において、各発行者にどのような工夫が見られるか。具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・6年生の教科書を参考に説明する。東京書籍の140, 141ページ。東京書籍では各単元末に「『できるようになったこと』『次に考えてみたいこと』はどんなことかな」というコーナーがあり、対話をとおして単元全体を振り返り、次の学習につなげていくための工夫がある。大日本図書の90, 91ページ。91から92ページにある2番の問題のように、各単元の「学び合おう」のコーナーにおいて、板書の様子や、複数の児童が対話している写真やイラストが大きくページを割いて取り扱っているという工夫がある。学校図書の142, 143ページ。学校図書では各単元の導入場面で、「はてなを発見」という大きな見出しとともに、単元全体の「問い」を発見するがあり、問いをもとに児童が主体的・協働的に学習を進めていくための工夫がある。教育出版の146, 147ページ。教育出版では、各単元の学習が、「？」(問いを見つける)→「！」(問いを解決する)→「！？」(問いをつなげ広げる)という流れで構成されており、問いをつなげていくことで児童が主体的・協働的に学習を進めていくための工夫がある。啓林館の98, 99ページ。啓林館では、各時間の冒頭に問いや見通しを「めばえ」として示し、「めあて」へつなげ、各時間の後半に「まとめ」を例示することで、児童が問いや見通しを立て、主体的・協働的に学習を進めていくための工夫がある。日本文教出版の89~91ページ。日本文教出版では板書をもとに教室での学習場면을模した紙面構成が多く取り入れられており、学習者はもちろんのこと、指導者の主体的・協働的な授業づくりをすすめるにあたって、視覚的に分かりやすい工夫がある。対話的な学習のための場面設定は、どの発行者も、単元の様々なところで取り入れている。

[十川副委員長]

- ・枚方市では架け橋期のカリキュラムの検証を行っており、算数科でも幼児期からのつながりが重要である。低学年においては、日常体験や遊びの場面を思い出しながら、算数の学習に入ることが必要だと考える。このことから教科横断的な視点や幼児期からの発達段階を考慮した特徴的な工夫が見られる発行者があれば、具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・どの発行者においても、スタートカリキュラムを意識した編集の工夫が見られる。その中で、東京書籍、大日本図書、啓林館、日本文教出版では、第1学年の算数入門期の学習にあたり、中綴見開きタイプの分冊があり、具体的操作等がしやすいよう工夫が見られる。特に、日本文教出版では、第1学年分冊における冒頭の「かずやかたちでたのしく」において、絵本の読みきかせを通じて、幼児期の「かずやかたち」に触れてきた経験を小学校算数の学習に円滑につなげていこうという工夫が見られる。

[十川副委員長]

- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」という観点で、各発行者の教科書をみたとき、特に工夫されている発行者について、具体的に例をあげて説明を願う。

[調査委代表]

- ・どの発行者においても、QRコードからの「学びのリンク」に創意工夫を凝らしているが、大日本図書、教育出版、啓林館、日本文教出版は、QRコードを読み取ると「どんなページにリンクするのか」が、アイコンや説明書きによって、分かりやすく示されており、特に個別最適な学習を促すために便利だと考える。また、東京書籍では、第2学年以上の特に課題がみられる単元において、「今日の深い学び」として板書と対話をイメージした紙面構成がされており、特に協働的な学びを促すための工夫が見られる。大日本図書では、各単元における「学び合おう」の学習過程において、「自分の考えを発表しましょう。また、友達の式や図を読み取って、どのような考えか説明しましょう。」「考えのよいところや似ているところを話し合ひましょう」等の問いかけが常にあり、特に協働的な学びを促すための工夫が見られる。日本文教出版では、各学年巻末の「算数マイトライ」という練習問題のコーナーにおいて、「基礎・基本」の「しっかりチェック」、「応用・発展」の「ぐっとチャレンジ」、「探究」の「もっとチャレンジ」と多彩な問題が用意されており、各単元の学習とリンクさせることで「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に資すると考える。

[齋藤委員長]

- ・数学的活動を通して数学的に考える資質・能力をはぐくむため、数学的表現を用いて説明し伝え合う活動が必要だと学習指導要領には記載されている。この、算数科における言語活動の充実の観点で、特徴のある発行者はどれか。具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・どの発行者においても、数、式、図、表などさまざまな表現方法を読み取る問題が単元や巻末にて展開されている。その中で伝え合うことに主眼が置かれている4発行者の、5年生の教科書を例に挙げると、東京書籍（下）p122, 123の「地球温だん化について考えよう」、啓林館 p244～p246の「エネルギーを使いすぎているかな」、大日本図書 p196, 197の「表し方をくふうしよう」「どこが安いかな」、日本文教出版 p252, 253の「コメの生産地と品種」である。これらは、全国学力・

学習状況調査で特に課題がみられた単元や他教科等との関連、現代的な諸課題に関連した問題解決をとおして、数学的表現を用いて説明し伝え合う活動が充実するものとする。

[十川副委員長]

- ・算数科の学習においては、事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えることが求められている。この点において、特徴のある発行者はどれか。具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・どの発行者においても、事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的につなげていくための工夫が見られる。特に「日本文教出版」では、事象に対して「論理的に考える」「統合的に考える」「発展的に考える」といった数学的な見方・考え方が学習過程の中で分かりやすく示されているとともに、上巻巻末に、切り取り可能な「学び方ガイド（算数で使いたい見方・考え方）」が用意され、児童が毎時間確認しながら学びを進めていける工夫が見られる。

[齋藤委員長]

- ・本市の児童にとってふさわしい教科書を2社程度あげるとすると、どのようになるか。

[調査員代表]

- ・日本文教出版と東京書籍である。現行の学習指導要領において、「数学的な見方・考え方を働かせて・・・」と教科の目標の冒頭に示されている極めて大切な「見方・考え方」がどのように取り扱われているか、加えて、第1学年の「スタート期」の指導にあたって、中綴見開きタイプの分冊は非常に使い勝手がいいということを重視した。これらの観点を踏まえたとき、東京書籍は、分冊があることに加えて、「見方・考え方」を「虫めがねマーク」によって児童に分かりやすく示しており、日本文教出版は、分冊があることに加えて、「見方・考え方」を囲みで随所に示している。

[齋藤委員長]

- ・その中で強いて1社あげるとすると、どの発行者になるか。その大きな理由は何か。

[調査員代表]

- ・日本文教出版である。先ほどの2つの理由に加え、各学年巻末の「算数マイトライ」という練習問題のコーナーにおいて、「基礎・基本」の「しっかりチェック」、「応用・発展」の「ぐっとチャレンジ」、「探究」の「もっとチャレンジ」と多彩な問題が用意されていること、QRコードからつながるデジタルコンテンツが充実かつどのようなコンテンツにつながるかが、学習者にとって分かりやすく、また豊富なコンテンツにより、個別最適な学びの充実に資すると考えるからである。

[齋藤委員長]

・他に質問はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

・調査員代表、ありがとうございました。

<算数調査員代表 枚方市立田口山小学校長 田中 毅 退室>

[齋藤委員長]

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

[齋藤委員長]

・日本文教出版において、「見方・考え方」が広がる記述を随所にちりばめていることや、1年生の「スタート期」の指導にあたって、使い勝手の良い中綴見開きタイプの分冊があること、QRコードの中身の説明があることなどの特徴を挙げていただいた。東京書籍も算数による「見方・考え方」が児童にわかりやすく提示されていること、そして他の発行者においても、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫が随所に見られることも分かった。その辺りも併せて教育委員会に答申する。異議はないか。

<異議なし>

[齋藤委員長]

・他の発行者の特徴も含めて答申する。

【種目名 音楽】

[齋藤委員長]

・調査員代表の入室を認める。

<音楽 調査員代表 枚方市立伊加賀小学校長 高嶋 珠希 入室>

[齋藤委員長]

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

[齋藤委員長]

- ・ただ今の報告の中で、質問はないか。

[十川副委員長]

- ・学習指導要領においては、育成すべき資質・能力の一つとして、言語能力があげられている。音楽科においても、音楽によって喚起された自己のイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽を聴いて感じ取ったことや想像したことなど伝え合い、共感するなど、音楽科の特質に応じた言語活動を位置付けることを求めている。言語活動の充実という点で、それぞれの発行者の特徴について、具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・どちらの発行者も、聞き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、音楽科の特質に応じた言語活動の充実を意識した工夫がなされている。教育出版では、各見開きに掲載している「まなびナビ」で思考力・判断力・表現力等の育成につながる発問例を示し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。2年生 41 ページや4年生 39 ページなどが該当する。また教育芸術社では、表現教材や鑑賞教材において、絵譜や譜例、挿絵を用いた説明などが充実しており、それらを活用することで言語活動の充実が図られるよう工夫されている。3年生 39 ページや4年生 33 ページ、6年生 16・17 ページなどが該当する。

[十川副委員長]

- ・学習指導要領では、特に低学年においては、他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにする旨が示されている。低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえて、他教科との関連を図ることで、児童の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、各発行者では、どのような工夫が見られるか。説明をお願いします。

[調査員代表]

- ・教育出版では、全学年の巻末に短時間学習教材としても扱える「ショートタイムラーニング」コーナーが設けられている。1年生 70・71 ページでは英語と2年生 70・71 ページでは算数、3年生 73 ページでは算数・理科と関連した歌が掲載されている。音楽だけでなく英語や算数への興味・関心・意欲の高まりが期待できる。また教育芸術社では、低・中・高の段階を踏まえて、生活や社会と音楽との関わりについて学んでいる。1年生 32・33 ページや2年生 28・29 ページでは身の回りの生活の中での音を通して、3年生以上は調べ学習と関連させている。音楽に対して持った興味・関心が学習へとつながり、その後の自分の人生や社会に生かされるよう工夫されている。

[齋藤委員長]

- ・学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められているが、児童が学習に主体的に取り組む場面、対話を通して考えを深める場面の設定において、各発行者の特徴を具体的に説明願う。

[調査員代表]

- ・児童が学習に主体的に取り組むためには、授業者と学習者がいかに本時の学びが見えているかが重要であると考えている。まずどちらの発行者も、巻頭のマップで年間の見通しを持つことができるよう工夫している。教育出版では、6年生48ページのように、各見開きに掲載している「まなびナビ」で子どもたちの見通しをもった学習をサポートしている。また、二次元コード「まなびリンク」を子どもたち自身が必要に応じて確認することができる。教育芸術社では、6年生42ページのように、「見つける」「考える」「歌う」「演奏する」「つくる」といった学習活動がわかりやすく示され、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」が明確になっている。また、二次元コード「ムーブの部屋」を子どもたち自身が必要に応じて確認することができる。対話的で深い学びについては、教育出版では、「まなびナビ」や中・高学年のページにある「学び合う音楽」で、考えたり伝え合ったりする活動を具体的に示している。5年生26・27ページや6年生18・19ページなどが該当する。また教育芸術社では、学習のねらいの達成に向けて考えてほしいことや、話し合ってもらいたいことを発達段階に応じて吹き出しを使い、具体的に例示している。1年生55ページや4年生63ページ、6年生20・21ページなどが該当する。

[椋山委員]

- ・音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさを見い出したりするなど、思考・判断し、表現する一連の課程を大切に学習の充実を図ることが重要である。この観点において、それぞれの発行者が工夫している点について、具体的に説明願う。

[調査員代表]

- ・教育出版は、子どもたちが創造性を発揮できるように、文字やイラスト、活動例を学習活動の系統性や発達段階に配慮しながら適切に示すことで、思考・判断しながら表現することができるよう工夫している。3年生50・51ページや5年生58・59ページが該当する。また教育芸術社は、子どもたちが「何を」「どのように」工夫すればよいのかという見通しをもてるように、作品例や様々なアイデアを例示し、思考・判断しながら表現することができるように工夫している。1年生56・57ページや3年生58・59ページが該当する。

[栗村委員]

- ・音楽の授業は子ども達が育っていく上でとても大事だと考える。音楽がもたらす影響も大きい。そのような音楽の教科においてSDGsについて触れられていたり、言語活動が盛んに行われそうな選曲になっていたりしている。そうした教科書を選ぼうと話合っていると感じた。

[齋藤委員長]

- ・2社のうち、1社あげるとすると、どの発行者になるか。その大きな理由は何か。

[調査員代表]

- ・どちらの発行者も、学習指導要領に基づいた内容で、音楽の美しさ・楽しさを大切に編集されていると感じた。そのうえで、どちらかを選ぶのであれば、教育芸術社を選ぶ。主な理由は、3点である。1点目は、子どもたちの学習活動が3観点に即して具体的にわかりやすく示されていること。また、題材の「ねらい」と「学習のまとめ」が明確に示されていることで、学習者だけでなく授業者も楽しみながら学びと向き合うことができると考える。2点目は、豊富な巻末資料と1年間の学習を振り返ることのできる「ふりかえりのページ」があること。1年間の学習を見通せる「学習マップ」は2社ともにあったが、学習したことをいつでも確認できる「ふりかえりのページ」は教育芸術社の特徴である。3点目は、教科書に「書く」紙面が多かったこと。言語活動を豊かにするうえで「書く」活動も大切だと考える。教科書で行うことができると、学習の跡をすぐに振り返ることができ、音楽をよりわかりやすくすると感じた。

[齋藤委員長]

- ・他に質問はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

- ・調査員代表、ありがとうございました。

<音楽調査員代表 枚方市立伊加賀小学校長 高嶋 珠希 退室>

[齋藤委員長]

- ・教育芸術社は、子どもたちの学習活動が3観点に即して具体的にわかりやすく示されており、また、題材の「ねらい」と「学習のまとめ」が明確に示されていることで、学習者だけでなく授業者も楽しみながら学びと向き合うことができること。そして、作品例や様々なアイデアを例示し、思考・判断しながら表現することができるように工夫しており、児童にとって大変学びやすい教科書であると考え。他の発行者にもよい特徴がそれぞれあるので、その辺りも併せて教育委員会に答申する。異議はないか。

<異議なし>

[齋藤委員長]

- ・他の発行者の特徴も含めて答申する。

【種目名 社会（地図含む）】

[齋藤委員長]

- ・調査員代表の入室を認める。

<社会（地図含む） 調査員代表 枚方市立東香里小学校長 西村 英理 入室>

[齋藤委員長]

- ・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

[齋藤委員長]

- ・ただ今の報告の中で、質問はないか。

[齋藤委員長]

- ・学習指導要領では、社会科の目標として「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会を主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者」としての「公民としての資質・能力」の育成が求められている。児童が学習に主体的に取り組む場面、対話を通して考えを深める場面の設定において、それぞれの発行者でどのような特徴があるか。具体的に例をあげて説明願う。

[調査員代表]

- ・どの発行者とも、本文では児童と教科書のキャラクターとの会話で学習がすすむように工夫されており、児童が学習者として主体的に取り組めるようになっている。日本文教出版では、児童の自身の発言をいれる空欄を設けている。(6年 p34-35)。また、どの教科書にもまとめのページでは、説明する、グループで話し合う、という児童の対話型学習が設定されている。(日文6年 p123、東書6年 p44、教出 p166) 地図ではどちらの発行者とも、児童が主体的に学べるよう、冒頭では分かりやすく見やすい地図を掲載し、続けて地図の見方を分かりやすく解説している。しかし、3年生の児童にとっても分かりやすいかという点では、帝国書院の方が、分かりやすい地図の豊富さや解説の丁寧さを感じる。

[椋山委員]

- ・社会科では、広い視野から地域社会や我が国の国土に対する理解を一層深め、日本人としての自覚をもち、国際社会で主体的に行動していくための基盤となる知識を身に付ける必要がある。この点において、各発行者はどのように工夫し、記載しているのか、説明願う。

[調査員代表]

- ・各発行者とも、6年生の後半で、世界の中の日本として、日本とつながりのある国々調べを単元として構成している。(日文 p232、教出 p238、東書6年政治 p60) 地図の両発行者は、冒頭と背中の見開きの世界地図を掲載し、さらに時差による生活の違いを記入して、日本と世界を比較し、児童が自ら気づける工夫がある。我が国の国土については、各発行者とも5年生でページを設定しており、地図の両発行者は日本全図で日本の範囲として掲載し、理解を深める工夫がある。

[十川副委員長]

- ・社会科では課題を追及したり解決したりするために、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論する言語活動の充実も求められる。この点において、各発行者の教科書はどのような特徴があるか。

[調査員代表]

- ・教育出版、6年 p48-49 において学習課題「わたしたちの暮らしにつながる政治について考えよう」「市のまちづくりについて」を題材にグループで話し合う時の方法や、多角的な意見や提案を掲載することで、言語活動の充実を図っている。日本文教出版 6年 p30-35 において、学習問題「わたしたちの暮らしとのつながり」において、発表方法、質問の仕方、深め合い、さらに考えたい課題の提示や、学習者自身が話し合いに参加して意見を言うための空欄がある。東京書籍 6年 政治 p104 において、「まとめる」コーナーとして学習問題について調べてきたことを話し合う方法について掲載して、世界の様々な課題について学習してきたことを発表する活動につなげている。

[樫山委員]

- ・社会科では習得した知識や技能を活用して、多角的に考え、調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程において、資質・能力の育成が期待される。そのため、教科書に掲載されている資料は、児童の学びを支える大切なものである。資料について、特に児童の多角的な考えを引き出す工夫が見られた発行者はあるか。具体的に例を挙げて説明願う。

[調査員代表]

- ・教育出版の歴史単元では白黒写真資料のカラー化を行っている。(教出 6年 p296) の説明では、「当時のできごとをより身近にとらえて、人々の思いをより深く理解してほしい。」とある。白黒写真よりもカラーは、その時代の生きた人の目線に立てる良さを感じた。国際社会における日本の主体性の一つである平和主義についてはどの教科書にも記述があるが、広島「平和への誓い」について、教育出版(6年 p288-289) は、初めて子ども代表が「平和の誓い」を述べた平成7年版を、令和3年版を東京書籍(6年 政治 p22-23) が掲載している。

[齋藤委員長]

- ・国旗・国家の取扱いについては、各発行者の取扱いに違いはあるか。

[調査員代表]

- ・各発行者とも、国旗と国歌のコラム(オリンピックの写真付き)を掲載している。教育出版 6年 p239、東京書籍 6年 p105、日本文教出版 p255。

[齋藤委員長]

- ・学習指導要領では、これまで第4学年から配付されていた「教科用図書 地図」を第3学年から配布するようにし、グローバル化などへの対応を図っていくことになった。第3学年への地図学習の導入という点から教科書をみたとき、各発行者の教科書の特徴を詳しく説明願う。

[調査員代表]

- ・地図の両発行者ともに、3年生から分かるように、そして地図への興味関心がわくように、3年生にも理解しやすい、やや簡略化した世界全図や日本全図を冒頭に掲載している。地図から、国や都市の位置、大きさ、方向、距離、地形、気候、特産物などを学ぶことができるのかを分かりやすくしている。そして続いて地図帳の使い方が段階的に示されている。

[十川副委員長]

- ・地図は社会科の授業の中で、教科書と並行して資料として活用するものである。各学年の学習内容と関連する項目について、それぞれ各発行者はどのように工夫し、掲載しているのか、説明願う。

[調査員代表]

- ・両発行者ともに並行使用を意識して内容を構成している。3年生の町調べ、4年生の産業調べ、5年生の日本の国土、領土、都道府県調べ、6年生の歴史の学習に使用できるようになっている。とくに6年生の歴史については、二社ともに地図全体に歴史的遺構や建造物、事件の表記を行っている他、帝国書院 p55-56 に江戸時代の交通網の地図、p69-70 に江戸の町の地図を掲載している。東京書籍 p77-80 に歴史年表と地図を並行して掲載し、地政学的視点で学ぶことができる。

[齋藤委員長]

- ・本市の児童にとってふさわしい社会と地図の教科書をあげるとすると、どの発行者の教科書になるか。

[調査員代表]

- ・社会については、東京書籍と教育出版である。各発行者とも、内容、児童の主体的な学び、各社の独自の取り組みなどにおいては配慮が十分感じられる。甲乙つけがたくはあるが、あえて申し上げるなら、教育出版が良いと感じた。大きな差と感じたのは教育出版の6年 歴史において写真資料のカラー化を行ったことである。歴史学習においてその時代の様子が伝わりやすいことは非常に影響が大きいと考える。
- ・地図については、帝国書院である。地図の段階的な説明が、文字数を絞り、平易で分かりやすく、丁寧である。また、広く見わたす地図を掲載しており、地図学習を開始する3年生が理解しやすいだけでなく、例えば、中国・四国・近畿地方という範囲の地図は、6年生の修学旅行に向けた学習において枚方市と目的地との位置関係が把握しやすく活用がしやすい。

[牧村委員]

- ・子どもが見て楽しめるように写真や文字が配置されており、難しい言葉には適時ふりがなもふられている。政治的な部分にも触れていて、内容の充実を感じた。社会に興味を持てる教科書だと感じた。

[齋藤委員長]

- ・他に質問はないか。

<なし>

[齋藤委員長]

- ・調査員代表、ありがとうございました。

<社会調査員代表 枚方市立東香里小学校長 西村 英理 退室>

[齋藤委員長]

- ・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

[齋藤委員長]

- ・社会科の教科用図書についてはどの発行者においても、会話形式のやり取りによって単元の本質にせまっていく展開がなされていることや、対話的な活動が取り入れられているなど、児童の深い学びにふさわしい内容となっていることが分かった。その上で、教育出版の白黒写真をカラー化している工夫は特徴的であることが挙げられた。
- ・地図については、平易な表現で分かりやすく、広く見渡す地図があることで学習の導入期でも使いやすいという帝国書院の特徴が挙げられた。他の発行者にもよい特徴がそれぞれあるので、その辺りも併せて教育委員会に答申する。異議はないか。

[齋藤委員長]

- ・他の発行者の特徴も含めて答申する。

[齋藤委員長]

- ・国語、書写、外国語、算数、音楽、社会（地図含む）についての調査報告並びに審議が終了した。各種目・教科ごとに確認させていただいた意見は、教育委員会に答申としてまとめさせていただく。

[齋藤委員長]

- ・なお、中学校については、前回の選定委員会で申し上げたが、文部科学省からの通知に「令和4年度に採択したものと同一の教科書を採択しなければならないこと。」とあることから、現在、枚方市が使用している教科書について、答申をまとめていくこととする。答申をまとめるにあたり、意見はないか。

<なし>

(5)閉会の挨拶

[齋藤委員長]

- ・これをもって、枚方市地区第3回選定委員会を終了する。連日の開催となるが、明日の第4回選定委員会への出席をお願いします。